



2022年5月10日

各位

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 鈴木隆太
 (コード番号 3521)
 問合せ先責任者 管理部 野村嘉之
 (TEL 03-6418-4391)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年5月13日に公表の「2021年3月期 決算短信[日本基準](連結)」より未定としておりました2022年3月期の連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、個別業績予想につきましては重要性の観点から公表を行っておりませんが、2022年3月期の個別業績予想につきまして、前年実績値との差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	751	△115	△131	△22	△0.50
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	599	△177	△186	△158	△3.71

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	337	△59	△72	35	0.81
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	326	△71	△82	△59	△1.38

修正の理由

1. 修正の理由

2022年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が当社グループ業績に与える影響を見通すことが困難であることから、非開示としておりましたが、現時点で入手可能な情報をもとに公表するものであります。

新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある中、当社グループは、業績回復に向け取り組んでまいりましたが、前年度に続き緊急事態宣言による臨時休業及び東京都からの営業時間短縮要請に応じたことで、大きな制約の中での営業を実施することとなりました。

また、2021年10月以降人流の回復が見られ客足が徐々に戻りつつあったのですが、2022年1月には変異株であるオミクロン株の拡大により、まん延防止等重点措置が発令され、再び人流が減少し入館者数も減少しました。

しかしながら、前期に比べ臨時休業期間・時短営業期間が短かったことなどにより、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ前期を上回りました。

2. 個別業績における前期実績値との差異が生じた理由

当社は、不動産事業におきまして連結子会社である株式会社テルマー湯より賃料の値下げを継続しているものの安定した収入を得ております。

以上により売上高、営業利益、経常利益はそれぞれ前期を上回りました。

また、東京都港区西麻布に所有するビルの大口テナントとの物件明渡しの訴訟の和解が成立したことにより、受取

和解金116百万円を特別利益に計上したことにより当期純利益が前期を大きく上回っております。

以 上